

区分	No.	標題	著編者・作成者(所属等)	掲載誌紙名	発行年月日
MZ311-4	19	機関紙「ひろば」第16号	森永ヒ素ミルク中毒「被害者」の会全国本部		1977.07.10
MZ311-5	1	〈冊子〉森永砒素ミルクを告発する 別冊資料集	岡山大学森永砒素ミルク研究会		1970.12.12
MZ311-5	2	「森永砒素ミルクを告発する」 No. 12	森永ヒ素ミルク研究会		1971.01.14
MZ311-5	165	大阪森永ヒ素ミルク中毒被害者の会結成大会	大阪森永ヒ素ミルク中毒被害者の会		1972.07.09
MZ320	1①	〈冊子〉障害者の地域生活を支えるネットワークづくり—森永ヒ素ミルク中毒被害者の場合—	大久保哲夫(奈良教育大学)	障害者問題研究(抜刷)	1996..
MZ320	1②	障害者の地域生活を支えるネットワークづくり—森永ヒ素ミルク中毒被害者の場合—	大久保哲夫(奈良教育大学学長)	大学生活40年 わたしのしごと	2000.04.02
MZ340	2	地方自治を住民の手に—森永ミルク中毒と自治体労働者の役割	大阪府職労衛生支部	第13回地方自治研究全国集会の報告資料	1970.05.
MZ340	3	森永ミルク中毒	大阪府職労衛生支部／森永ミルク事後調査の会	第13回自治研全国集会報告集	1970.05.
MZ340	4	仮題・森永ミルク中毒は裁く	大阪府職労衛生支部／森永ミルク事後調査の会／(浦田直美)	第13回自治研全国集会報告	1970.03.
MZ340	5	森永ミルク中毒事件とその「第三者」機関の公害史的意義	自治労大阪府職衛生支部公衆衛生研究所分会	地研4(抜粋)	1970.09.30
MZ340	6	自主検診費用「県を通じて弁済」追及されて二重証言—ヒ素ミルク中毒森永側代表	自治労大阪府職員組合衛生支部教宣部	衛生支部ニュース「土」	1971.01.13
MZ340	7	森永ヒ素ミルク中毒事件(経過)	大阪府職労保健所支部	支部情報	1971.02.04
MZ340	8	第〇回自治研全国集会・第3分科会および第9分科会 森永ミルク中毒(手書き原稿)	大阪府職労衛生支部／森永ミルク事後調査の会		1970.03.
MZ340	9	健康白書No.1 第4章7-(4)-①森永ヒ素ミルク中毒事件	日本教職員組合	健康白書No.1 子どもの健康実態 17979年度版	1980.03.31
MZ340	10	年ふり人はかわれども—全森永50年史	全森永労働組合		1996.09.01
MZ350	2	重複障害児の教育と発達について—高知県立高知園芸高等学校における森永ミルク中毒被害児に対する退学処分および島根県立浜田ろう学校重複障害児学級における教育実践を中心として—[7報]	小松寿子(高知大学教育学部保健教室)、川添邦俊(東北福祉大学)	高知大学教育学部研究報告(別刷)	1973..
MZ350	3	発達保障の道を力強くすすもう(講座:第13回)	田中昌人(京都大学)	みんなのねがい	1972.03.01
MZ350	4	〈冊子〉“ひまわり学級”実践報告	財団法人ひかり協会大阪事務所“ひまわり学級”		1976.07.23
MZ350	5	〈冊子〉森永ミルク中毒被害者の教育・就労・施設問題等に関する研究報告集(第1集)	財団法人ひかり協会教育福祉委員会 教育・就労・施設問題研究会		1976.09.22
MZ350	6	〈冊子〉ひかり学級文集—1周年記念特集—	財団法人ひかり協会京都事務所ひかり学級一周年記念行事実行委員会		1976.10.17
MZ350	7	〈冊子〉森永ミルク中毒被害者の教育・就労・施設問題等に関する研究報告集(第2集・第1分冊)	財団法人ひかり協会教育福祉委員会 教育・就労・施設問題研究会		1977.09.
MZ350	8	〈冊子〉森永ミルク中毒被害者の教育について(中間答申)	財団法人ひかり協会教育福祉委員会		1977.12.
MZ350	9	〈冊子〉もみじ教室実践報告 第1号	財団法人ひかり協会広島事務所もみじ教室		1978.03.
MZ350	10	〈冊子〉あゆみ	財団法人ひかり協会奈良事務所 奈良ひかり青年学級		1978.03.
MZ350	11	〈冊子〉奈良ひかり青年学級実践報告 No. 1(1977年度)	財団法人ひかり協会奈良事務所 奈良ひかり青年学級		1978.3.25
MZ350	12	〈冊子〉奈良ひかり青年学級実践報告 No. 2(1978年度)	財団法人ひかり協会奈良事務所 奈良ひかり青年学級		1979..
MZ350	13	〈冊子〉京都における教育事業のまとめ—ひかり学級・訪問教育を中心として—	財団法人ひかり協会京都事務所ひかり学級運営委員会		1979.07.
MZ350	14	〈冊子〉ひかり 第43回訪問教育集団活動	財団法人ひかり協会和歌山事務所		1981.07.25-26

区分	No.	標題	著編者・作成者(所属等)	掲載誌紙名	発行年月日
MZ350	15	〈冊子〉ひかり第7回集団活動	財団法人ひかり協会和歌山事務所		
MZ350	16	〈冊子〉ひかり第9回集団活動	財団法人ひかり協会和歌山事務所		
MZ350	17	〈冊子〉奈良ひかり青年学級の実践の歩み	上田能嗣、坂下伸一(奈良ひかり青年学級)	柳川九草教授退官記念論文集「障害児学への道」抜刷	1988.04.
MZ350	18	〈冊子〉あゆみ1979	財団法人ひかり協会奈良事務所 奈良ひかり青年学級		1979..
MZ350	19	〈冊子〉奈良ひかり青年学級実践報告 No. 4	財団法人ひかり協会奈良事務所 奈良ひかり青年学級		1981.08.
MZ350	21	〈冊子〉奈良ひかり青年学級 1984年度総括	指導員: 上田能嗣(あすか養護学校)、坂下伸一(奈良教育大附属小学校)、中峯美栄(大淀養護学校)、細野歩(生駒台小学校)、田頭恵美子(西の京養護学校)、川岸圭子(手話通訳)		1985..
MZ350	22	〈冊子〉奈良ひかり青年学級 1985年度総括	指導員: 上田能嗣(明日香養護学校)、坂下伸一(奈良教育大附属小学校)、細野歩(生駒台小学校)、細野恵美子(西の京養護学校)、山崎直美(西の京養護学校)、山本裕美(西の京養護学校)		1986..
MZ350	23	〈冊子〉奈良ひかり青年学級 1986年度総括	指導員: 上田能嗣(明日香養護学校)、坂下伸一(奈良教育大附属小学校)、山崎直美(西の京養護学校)、山本裕美(西の京養護学校)、広沢誠司(西の京養護学校)、白羽菜穂子(二階堂養護学校)		1987.07.
MZ350	24	〈冊子〉奈良ひかり青年学級 10周年記念	財団法人ひかり協会奈良事務所 奈良ひかり青年学級		1987.12.20
MZ350	25	〈冊子〉奈良ひかり青年学級 1988年度実践報告	指導者集団: 上田能嗣(二階堂養護学校)、坂下伸一(奈良教育大附属小学校)、山崎直美(西の京養護学校)、広沢誠司(西の京養護学校)、白羽菜穂子(こまどり作業所)、奥野健(大淀養護学校)、江尻祥晃(七条養護学校)、杉村香代子(上牧第二中学校)		1989..
MZ410	1	森永ひ素ミルク中毒事件と医師	高谷清(京都森永砒素ミルク中毒調査研究会)	社会医学研究	1970.11.15
MZ410	2	森永ひ素ミルクの後遺症なし—福井県医師会、追跡調査で結論		厚生環境	1970.12.07
MZ410	3	〈冊子〉森永「ヒ素ミルク」中毒被害児の健康対策(予報)—断食療法・玄米食などを応用した健康法の場合—(新日本医師協会全国研究集会で発表)	甲田光雄、丸山博(大阪大学医学部衛生学教室)、飯淵康雄(関西医科大学公衆衛生学教室)		1972.10.10
MZ410	4	森永ミルク中毒事件と未登録被災者の問題—東京都の当時の状況から	上畑鉄之丞、笹川七三子(杏林大学医学部衛生学)	医学史研究会例会資料	1974.05.22
MZ410	5	砒素化合物を経口的に摂取した場合の砒素中毒患者の診断基準について		日本医師会雑誌	1955.11.15
MZ410	6	森永砒素ミルク中毒事件におけるいわゆる未確認患者問題について	土居真、山下節義((京都森永砒素ミルク中毒調査研究会)	社会医学研究	1972.06.
MZ410	7②	〈冊子〉森永ミルク中毒事件におけるいわゆる未確認被害者問題について	山下節義、土居真(京都大学医学部公衆衛生学教室)	日本衛生学雑誌(別冊)	1975.02.
MZ410	8	森永ミルク中毒被害者の救済の課題(全日本民医連学術集団報告原稿)	松岡健一(水島協同病院)		1975.12.
MZ410	9	〈冊子〉森永ミルク中毒被害者の救済の課題(全日本民医連学術集団報告抄録)	民医連岡山県連(松岡健一、水落理、重見公平、福田博、常久勢子、林英子)		1975.12.
MZ410	10	ドライミルク禍に便乗して	北條春光(九州大学教授)	日本医事新報	1955.09.24
MZ410	11	「岡山県粉乳砒素中毒調査委員会」批判	上畑鉄之丞(杏林大学医学部衛生学教室)、水落理(岡山協立病院)、松岡健一(水島協同病院)	健康会議	1973.07.

区分	No.	標題	著編者・作成者(所属等)	掲載誌紙名	発行年月日
MZ410	12	人・濱本英次氏	M.M	日本医事新報	1955.10.01
MZ410	13	森永ドライミルク中毒症に就いて	吉田宗一(南大阪病院小児科長)	南大阪病院医学雑誌	1955.11.
MZ410	14	粉乳による慢性砒素中毒乳児を見舞い歩くの記	高津忠夫(東京大学小児科教授)	日本医事新報	1955.09.17
MZ410	15	写真図説・粉乳による慢性砒素中毒症	濱本英次(岡山大学教授)	小児科臨床	1955.11.
MZ410	16	粉乳中毒事件をめぐって	小山武夫	済生	1955.11.
MZ410	17	〈冊子〉砒素	蒲生逸夫(大阪大学小児科学教室)	内科(別冊)	1971.05.
MZ410	18	Varios Effects of Arsenic in Japan Depending on Type of Exposure	Kenzaburo Tsuchima(慶応大学医学部)	Environmentai Health Perspectives	1977.08.
MZ410	19	森永ミルク中毒事件をめぐって—医療の立場から②事件記録誌～発生当時の実態～	細川一眞(森永ミルク中毒のこどもを守る会全国理事)	大阪保険医雑誌	1974.09.
MZ410	20	森永ミルク中毒事件をめぐって—医療の立場から③森永ミルク中毒事件と大学民主化	中川米造(大阪大学医学部助教授)	大阪保険医雑誌	1974.09.
MZ410	21	森永ミルク中毒事件をめぐって—医療の立場から ④丸山先生訪問記	小松良夫(大阪保険医協会)	大阪保険医雑誌	1974.09.
MZ410	22	森永ミルク中毒事件をめぐって—医療の立場から ⑦秘められた事件史	遠迫克美(岡山県保険医協会副理事長)	大阪保険医雑誌	1974.09.
MZ410	23	森永ミルク中毒事件をめぐって—医療の立場から ⑩主治医としての現場より	田中静之(堺市・保険医協会)	大阪保険医雑誌	1974.09.
MZ410	24	森永ミルク中毒事件をめぐって—医療の立場から ⑪主治医登録の意義とお願い	福中勘治(森永ミルク中毒対策委員会)	大阪保険医雑誌	1974.09.
MZ410	25	粉乳砒素中毒関係文献(第1次検索分)	群馬大学医学部公衆衛生学教室		1969.12.
MZ410	26	森永砒素ミルク中毒関係文献一覧	岡山大学医学部衛生学教室		1978..
MZ410	27	公害・有害食品・薬害	東田敏夫(関西医科大学公衆衛生学教室)、大橋邦和(名古屋大学公衆衛生学教室)、太田邦夫(岡山大学衛生学教室)	公衛誌	1972.12.
MZ410	28	慢性中毒・ヒ素	豊島協一郎	新小児医学体系(別冊)	1982..
MZ410	29	砒素ミルク中毒事件後『14年目の訪問』をきいて	中島紀恵子(大阪府立公衆衛生学院)	保健婦雑誌	1969.12.10
MZ410	30	ものがたり森永ひ素みるく中毒事件 医学と人間に背くもの (その1)(その2)(その3)(最終回)	水落理(岡山協立病院長)		1973.02.-05.
MZ410	31	森永「ヒ素」ミルク中毒被害児の健康対策(第1報)—断食療法・玄米食などを併用した健康法の場合—	中田元雄、丸山博(大阪大学医学部衛生学教室)、飯淵康雄(関西医科大学公衆衛生学教室)	民族衛生(別冊)	1972.11.
MZ410	32②	〈冊子〉森永ヒソミルク中毒—新たなる闘いのために—	北部九州若手医師グループ		1972.07.
MZ410	33	ただちに生命を守る闘いに 森永砒素ミルク中毒事件の今	中川米造(大阪大学医学部助教授)	健康会議	1970.07.01
MZ410	34	医学のあゆみ(抜き刷り) ①〈特別掲載〉森永砒素ミルク中毒症追跡調査について……中川米造、飯淵康雄 ②森永砒素ミルク中毒症追跡調査中間報告(小児科)……西田勝、神尾守房、豊島協一郎 ③昭和30年の森永砒素ミルクによる被災児の精神神経学的現症……湯浅亮一 ④森永砒素ミルク中毒被災者47名の15年目の皮膚科的所見 ……川津智是、三木吉治、奥村雄司、田代実、川津友子 ⑤昭和30年の砒素入り粉ミルク中毒被災児の眼科学的検診成績……大鳥利文、塚本尚 ⑥砒素ミルク中毒児の難聴……佐藤武男		医学のあゆみ	1970.07.04
MZ410	35	昭和30年の森永毒入りミルク飲用乳幼児に関する研究の特徴点	丸山博、飯淵康雄(大阪大学医学部衛生学)	日衛誌	1970.04.

区分	No.	標題	著編者・作成者(所属等)	掲載誌紙名	発行年月日
MZ410	36	砒素入り粉乳事件の一考察	飯淵康雄(大阪大学医学部衛生学教室)	MEDICAL TRIBUNE	1970.10.01
MZ410	37	健康被害と医学者の対応—森永ヒ素ミルク中毒の場合 (第32回日本公衆衛生学会総会シンポジウムにおける報告提起:手書き)	丸山博(前大阪大学教授)		1973..
MZ410	38①	特集・森永ミルク中毒事件をめぐって—医療の立場から 巻頭言・民主主義の第二段階……曾田長宗 ①事件発生当時の症例報告より—抜粋……編集部 ②「14年目の訪問」より—抜粋……細川一眞 ③事件記録誌—発生当時の実態……細川一眞 ④丸山博先生訪問記……小松良夫 ⑤森永ミルク中毒事件と大学民主化……中川米造 ⑥森永砒素ミルク中毒被災児における神経系の障害……湯浅亮一 ⑦MBD (Minimal Brain Dysfunction) 症候群……北條博厚 ⑧砒素中毒既往児の剖検例……岡野錦弥 ⑨秘められた事件史……遠迫克美 ⑩訴訟の終結と被害者の救済……伊多波重義 ⑪財団法人ひかり協会—丸山報告以後の経過と協会設立の意義……細川一眞 ⑫主治医として現場より……田中静之 ⑬主治医登録の意義とお願い……福中勘治 ⑭森永砒素ミルク中毒事件 経過と年表……細川一眞	大阪府保険医協会	大阪保険医雑誌	1974.09.20
MZ410	38②	〈冊子〉森永ミルク中毒事件をめぐって—医療の立場から ①巻頭言・民主主義の第二段階……曾田長宗 ②詩・過去……山本真智子 ③事件発生当時の症例報告より—抜粋……編集部 ④「14年目の訪問」より—抜粋……細川一眞 ⑤事件記録誌—発生当時の実態……細川一眞 ⑥丸山博先生訪問記……小松良夫 ⑦森永ミルク中毒事件と大学民主化……中川米造 ⑧森永砒素ミルク中毒被災児における神経系の障害……湯浅亮一 ⑨MBD (Minimal Brain Dysfunction) 症候群……北條博厚 ⑩砒素中毒既往児の剖検例……岡野錦弥 ⑪秘められた事件史……遠迫克美 ⑫詩・空よ……矢野謙一郎 ⑬訴訟の終結と被害者の救済……伊多波重義 ⑭財団法人ひかり協会・丸山報告以後の経過と協会設立の意義……細川一眞 ⑮主治医として現場より……田中静之 ⑯主治医登録の意義とお願い……福中勘治 ⑰森永砒素ミルク中毒事件 経過と年表……細川一眞 ⑱すいせん文……丸山博	大阪府保険医協会	冊子	1974.12.01
MZ410	39	〈冊子〉森永ヒ素ミルク中毒事件にみられる社会的医学的特徴	山下節義(奈良医科大学衛生学教室)	社会医学研究(抜刷)	1992..
MZ410	40	「森永ミルク砒素中毒児の健康調査」ならびに「森永ミルク砒素中毒児健康調査のメモ」について—佐野、大和両先生の報告に対する批判—	元岡山県粉乳砒素中毒調査委員会委員・水落理(岡山協立病院)、松岡健一(協同病院)	岡山県医師会報	1973.02.10
MZ410	41	森永砒素ミルク中毒被災児に関する研究の特徴点とその総括—1955年から1965年までの—	飯淵康雄(大阪大学医学部衛生学教室)	日本公衆衛生雑誌	1971.05.15
MZ410	42	森永「砒素ミルク」中毒事件再発掘に参加して	飯淵康雄(関西医科大学講師)	民族衛生	1971.11.
MZ410	43	砒素ミルク中毒被災児の後遺症調査について—「岡山県調査委員会報告書」の問題点—	上畑鉄之丞(岡山協立病院)	東京大学新聞	1973.02.06
MZ410	44	医学のあゆみ(抜き刷り) ①森永砒素ミルク中毒症85人の追跡調査結果(小児科)……豊島協一郎、隅清臣 ②1955年の森永砒素ミルク被災児におけるてんかんの罹病について……湯浅亮一 ③森永砒素ミルク中毒被災者の15年目の皮膚科的所見—点状の白斑を中心として……川津智是、三木吉治、奥村雄司、田代実、川津友子、吉川邦彦 ④昭和30年砒素入り粉ミルク中毒被災児の眼科学的検診成績(続)……大鳥利文、塚本尚、別所建夫 ⑤砒素ミルク中毒児の難聴(続報)……佐藤武男 ⑥森永砒素ミルク中毒児家庭への訪問事例……飯淵康雄		医学のあゆみ	1971.04.03

区分	No.	標題	著編者・作成者(所属等)	掲載誌紙名	発行年月日
MZ410	45	シンポジウム—今回の粉乳による砒素中毒症について— 1. 大阪市におけるMF印ドライミルク中毒について……岡邨一男(大阪市衛生局公衆衛生課長) 2. 大阪府における患者発生状況について……太田隆(大阪府公衆衛生課長) 3. 砒素の摂取、生体内残留及び排泄について……堀内一彌(大阪市立大学医学部衛生学・公衆衛生学教室教授) 4. 粉乳による小児砒素中毒症の骨「レ」線像について……広島英夫(大阪市立城東市民病院長) 5. 当地方における乳幼児砒素中毒症の臨床的観察……高井俊夫(大阪市立大学医学部小児科教授) 6. 粉乳中毒児の皮膚科学的観察……桜根好之助(大阪市立大学医学部皮膚科泌尿器科教授) 7. 粉乳(砒素)中毒症の剖検所見……馬場為義(大阪市立大学医学部病理学教室教授)		大阪市医学会誌	1955.10.
MZ410	46	いわゆる「食品公害」	丸山博(大阪大学医学部教授)	ジュリスト臨時増刊	1970.08.10
MZ411	1	森永ドライミルクによる乳児砒素中毒症に就て 第2篇・血液学的所見	石田巖、内田可亮、池田元子、富岡啓郎、本吉徹三、金田皓太郎、名越康(倉敷中央病院小児科)	倉敷中央病院年報	1956.09.
MZ411	2	森永ドライミルクによる乳児砒素中毒症に就て 第3篇・血液の理化学的並に生化学的検査	石田巖、内田可亮、池田元子(倉敷中央病院小児科)	倉敷中央病院年報	1956.09.
MZ411	3	「所謂ドライミルク中毒事件」の検査成績 (1)組織学的所見	大村得三、柴田衛敏、高部福太郎、魚谷嘉男、松本秀雄、加島融、水野進(大阪大学)	日本法医学雑誌	1955.11.
MZ411	4	「所謂ドライミルク中毒事件」の検査成績 (2)化学的検査所見	大村得三、四方一郎、助川義寛、橋本清、日笠俊一、吉村昌雄、福井巳芳(大阪大学)	日本法医学雑誌	1955.11.
MZ411	5	森永ドライミルクMFによる砒素中毒について (2)砒素中毒乳児の体内における砒素量について	児玉二郎、北村直次、井上和子(岡山県衛生研究所)	岡山県衛生研究所年報	1956.03.
MZ411	6	森永ドライミルク中毒児毛髪中の砒素定量	甲村勝巳(和歌山医大)	日本法医学雑誌	1955.11.
MZ411	7	森永ドライミルク中毒児の毛髪中砒素定量	甲村勝巳(和歌山医大)	日本法医学雑誌	1956.05.
MZ411	8	森永ドライミルクMFによる砒素中毒について (1)MF印粉乳中の砒素含有量について	北村直次、粕山敏明(岡山県衛生研究所)	岡山県衛生研究所年報	1956.03.
MZ411	9	化学的に見たミルクの砒素中毒に就て	木下茂吉	新潟県立病院医学会誌	1956.09.
MZ411	10	粉乳に混在する砒素化合物の検査方法について	沖波実、蔵田義則、松谷衛、松永昭二(広島県衛生研究所)、近藤安治(広島県立可部保健所)	広島県衛生研究所年報	1956..
MZ411	11	粉乳砒素中毒症患児の尿の硝酸銀反応に就て	植山実、石橋丸應(山口日赤)	小児科診療	1956.03.
MZ411	12	粉乳による砒素中毒症の考察及びその尿中砒素の消長について	高野昭夫(金沢大学医学部小児科教室)、田辺晋(金沢大学薬学部教授)	十全医学会誌	1956.01.
MZ411	13	微量砒素定量法の研究(第2版)	石田行雄、岡村年子(徳島大学薬学部)	薬学研究	1955.10.
MZ411	14	粉乳による砒素中毒症患児の血液像及び骨髄像	中山健太郎、植田穰、小林惇(東京大学小児科)	日本血液学会雑誌	1956.06.
MZ411	15	粉乳中毒患児尿の硝酸銀反応に就いて	植山実(山口日赤小児科)、石橋丸應(山口日赤薬劑科)	山口医学	1956..
MZ411	16	粉乳砒素中毒乳児の血液尿中砒素量について	堀内一彌、岩瀧典生、中尾正宏(大阪市立大学衛生学公衆衛生学)	日本小児科学会雑誌	1956.08.01
MZ411	17	粉乳による乳児砒素中毒症の血液所見	富金原茂、赤尾智、多賀谷創平、秋山清一郎(広島鉄道病院)、梶山敏彦、宮河定(広島大学小児科)	小児科臨床	1956.12.05
MZ411	18	ドライミルクによる砒素中毒症、特にその血液像及び心電図に就て	神前昌三、青木正積、水口雅代(和歌山日赤)	小児科臨床	1957.01.05
MZ411	19	MF粉乳による砒素中毒症の血液凝固因子	吉田邦男、吉岡慶一郎、梅垣健三、福井弘、馬島保(奈良医大)	小児科臨床	1957.01.05
MZ411	20	所謂ドライミルク中毒事件の化学的検査成績	大村得三、四方一郎、助川義寛、日笠俊一、橋本清、吉村昌雄、福井巳芳(大阪大学医学部法医学教室)	日本法医学雑誌	1958.01.